

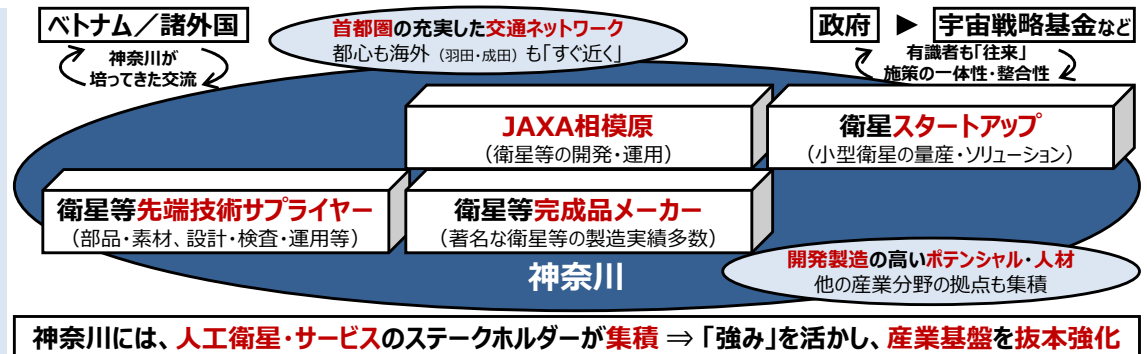
神奈川県 人工衛星・サービス分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域 人工衛星・サービス 分野を核とする航空宇宙産業

- ※ 1 政府「戦略17分野」：航空・宇宙（「主要な製品・技術等」：人工衛星・サービス）
- ※ 2 関連する産業分類の例：輸送用機械器具製造業、情報サービス業、技術サービス業等

2. 対象エリア 横浜・川崎・相模原・鎌倉・藤沢・茅ヶ崎・大和を核とするエリア

- ※ 3 県内には、既に、以下の各欄記載のとおり、核となる企業・事業所が集積しており、今後の航空宇宙産業の市場成長を取り込む素地



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- 神奈川県には、すでに、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所（相模原）、三菱電機相模工場（同）・鎌倉製作所（鎌倉）、NEC／NECスペーステクノロジー相模原事業所（相模原）、Synspectiveヤマトテクノロジーセンター（大和）等、大型から小型に至る衛星等の研究開発・製造拠点が多数立地
- さらに、アイネット（横浜）、オービタルエンジニアリング（同）、三技協グループ（同）、スカパーJSAT（横浜衛星管制センター（同））、日本飛行機（同）、HIREC（川崎）、由紀精密（茅ヶ崎）等、衛星等向けの部品・素材の供給、設計・検査・運用等を担う先端技術企業・拠点群が集積

（2）目指すべき目標

- 強みである衛星・サービス分野について、産業エコシステム構築、サプライチェーン強靱化等により、世界的な「ゲームチェンジ」（小型・量産化）に対応。今後の市場成長を取り込み、産業基盤の自立性・自律性を確保
- 政府が掲げる市場規模の拡大目標（宇宙機器産業：2030年に2020年比約171%等）を、関連産業の集積地である神奈川から達成・貢献
- 2030年度目標（KGI）：①官民設備投資額170億円（うち30年度37億円）、②付加価値増加額167億円、③従業者増加数（産業人材育成目標数）311名

（3）設定の根拠

- 「宇宙基本計画」（令和5年6月13日閣議決定）、「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項」（令和8年6月12日宇宙開発戦略本部）等

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- 神奈川の「勝ち筋」である衛星・サービス分野に重点
- ①産業エコシステム構築のため、ネットワーク形成を促進。他の産業分野の集積も活かして、オープンイノベーションを実現
- ②サプライチェーン強靱化に向けた投資促進
- ③「利用者本位」を徹底しつつ、衛星・衛星データ活用の好事例を模索

（2）投資の具体像

- すでに公表されている大型投資
- ◆三菱電機によるオープンイノベーション拠点「湘南スペースパーク」構想：神奈川県南部に衛星の試作・試験・管制等のための共有設備を備えた「開かれた拠点」を新設

（3）地域へのインパクト・目指す姿

- 神奈川の企業・事業所が、人工衛星・サービス分野を中心に、高い成長が見込まれる航空宇宙産業に目を向けていくことは、地域の経済活動の多様性を維持し、レジリエンスを高める上でも有意義

5. 政策手段

（1）投資促進に向けた課題

- 衛星を巡る「ゲームチェンジ」（小型・量産化）に対応
- 産業基盤の自立性・自律性を確保

（2）政策パッケージ

- ①ネットワーク形成促進（産業エコシステム構築）
産業・学術・金融・人材の集積を活かし、ネットワーク形成を強力に促進
◇オープンイノベーション拠点「スペースヴイレッジ」／振動試験設備の整備・運営【県】
◇衛星コンポ・アーキテクチャに関する連携体制構築【県】等
（参考）民間オープンイノベーション拠点「湘南スペースパーク」構想【三菱電機】

②投資促進（サプライチェーン強靱化）

- 政府・県施策をプッシュ型で周知するなど、各種支援措置の活用を強力に後押し
◇大規模成長投資補助金【政府】
◇中小企業新事業進出補助金【政府】
◇誘致施策「セレクト神奈川NEXT」【県】等

③衛星・衛星データ活用

- ◇衛星データに関する連携体制構築【県】等

神奈川県 人工衛星・サービス分野における地域産業クラスター計画の概要

(参考図表)

■神奈川県

